

問1 つぶの大きさが大きいものも多く、水がしみこむのが速いという特^{とくちょう}徴をもつ、地面のつぶは何ですか。

問2 空に雲があるとき、天気が「晴れ」であるといえるのは、どのような状^{じょうたい}態のときですか。

問3 1日の気温の変化を表すために使われる、横のじくに時こくを、たてのじくに気温をとったグラフは何ですか。

問4 空に雲がたくさん広がって、青空がほとんど見えないときの天気を何といいますか。

問5 1日のうちで、気温がもっとも低くなるのはいつですか。

問6 校庭の土には、どのような特^{とくちょう}徴がありますか。

問7 空に雲が少しあっても、青空が見えているときの天気の名前は何かですか。

問8 じやりの地面に水を流したとき、水がしみこむ速さはどのようにになりますか。

問9 地面を流れる水は、地面のどのような特^{とくちょう}徴にそって、どのように流れますか。

問10 雨がふったあとに、地面の傾^{かたむ}きにそって、高いところから低いところに向かって動いていくものは何かですか。

問11 雨^ふが降ったとき、地面を水が流れていったり、流れずにその場所にたまったりする様子のことを何といいますか。

問12 砂^{すなば}場の砂^{すな}のように、土のつぶが大きい場所での水のしみこみ方はどうなりますか。

問13 気温をはかるとき、温度計に日光が直^{ちよくせつ}接当たらないようにするのはなぜですか。

問14 晴れた日の1日の気温の変化には、どのようなとくちょうがありますか。

問15 天気が「くもり」のとき、空の様子はどのようにになっていますか。

問16 1日の気温の変化が、晴れた日とくらべて小さくなるのは、どのような天気の日ですか。

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え じゃり	じゃりは、すなやねんどに比べてつぶの大きさが大きく、水がしみこむのが速いという特徴があります。
問2	答え 青空が見えているとき	雲があっても、青空が見えているときのことを「晴れ」といいます。
問3	答え 気温の折れ線グラフ	1日の気温の変化を表すときには、横のじくに時こく、たてのじくに気温をとった「気温の折れ線グラフ」を使います。
問4	答え くもり	空に雲が広がって、青空がほとんど見えないときの天気を「くもり」といいます。
問5	答え 日の出の少し後	気温は夕方をすぎるとだんだん下がっていき、太陽がのぼり始める日の出の少し後にいちばん低くなります。
問6	答え つぶの大きさが小さいものが多く、水がしみこむのに時間がかかる。	校庭の土はつぶの大きさが小さいものが多く集まっているため、水がしみこむまでに時間がかかります。
問7	答え 晴れ	空に雲があっても、青空が見えているときの天気を「晴れ」といいます。
問8	答え すなやねんどよりも速くしみこむ。	じゃりはつぶの大きさが大きいので、つぶとつぶのすき間が広く、水が速くしみこみます。
問9	答え 地面の傾きにそって、高いところから低いところに向かって流れる。	地面を流れる水は、地面の傾きにそって、高いところから低いところに向かって流れるという決まりがあります。
問10	答え 地面を流れる水	雨がふったあと、地面の傾きにそって高いところから低いところへ動いていく水は、地面を流れる水です。
問11	答え 雨水のゆくえ	雨が降ったとき、地面を水が流れていくことや、流れずにその場所にたまっていることを「雨水のゆくえ」といいます。
問12	答え 水がはやくしみこむ。	土のつぶが大きいと、つぶとつぶの間のすき間が大きくなるため、水がはやくしみこみます。
問13	答え 温度計が直接あたためられて、正しい気温がはかれなくなるから。	温度計に日光が直接あたると、温度計自体があたためられてしまい、正しい気温の温度がはかれなくなります。
問14	答え 気温の変化が大きい	晴れた日は、太陽の光が地面をよくあたためるため、1日の気温の変化が大きくなります。
問15	答え 雲が広がって、青空がほとんど見えない様子	くもりは、雲が広がって青空がほとんど見えない状態のことを表します。
問16	答え くもりや雨の日	くもりや雨の日は、晴れた日とくらべると1日の気温の変化が小さくなるという特ちょうがあります。